

SC7215／7217 シリーズ 3ch 表示
LabVIEW(Ver7.0) サンプル

説 明 書

2015／9／18

岩通計測株式会社

1. 概要

本ソフトは、弊社測定器 SC7215／7217 を LabVIEW(Ver7.0)上でリモート制御するサンプルソフトです。

SC7215／17_3ch 表示(LV7).llb にパックしてあります。

■ サンプルプログラム

SC7215／17_3ch 表示.vi

■ ドライバ

Send_Rec_VISA.vi

Rec_VISA_with_Timeout.vi

2. コピー権、販売許諾条件、責任など

■ コピー権

オリジナル版のコピー権は、全て、弊社に属します。

■ ドライバ

変更可能です。オリジナル版、変更版共に、ドライバ単体では、弊社に断りなく販売できません。但し、お客様のプログラムに添付して、そのプログラムの一部として販売することは許可します。

■ サンプルプログラム

変更可能です。オリジナル版、変更版共に弊社に断りなく、販売できません。

■ 責任、サポート

本ドライバ、サンプルプログラムを使用して生じたいかなる不具合、トラブルについても、当社は一切責任を負いません。但し、有償にて、解決についてのサポートをすることはできます。

3. 使用条件

a. PC : IBM PC／AT 互換機

b. 動作確認 OS : マイクロソフト Windows 7／Windows8

Vi を使用する場合、LabView7.0 以上がインストールされていること。

c. インタフェース : TCP/IP。

VISA5.20 ドライバ(NI 社 HP からダウンロードして下さい)。読取りデリミタ:LF。

d. 上位 LabView バージョンでの動作

LabView 供給元ナショナルインスツルメンツ社が保証する条件と同じです。

4. サンプルソフト実行形式使用の場合

4.1 通常ケース(Windows 7 の場合)

- a. VISA5.20 Runtime を install して下さい。

VISA 5.20Runtime が install されていない場合。

- b. サンプルソフトを動作させる場合、

添付の<SC7215/17_3ch 表示(ver1.00).msi>を install して下さい。

4.2 正常にインストールできない場合(Windows8 などの場合)

- a. LV7.1Runtime を install して下さい。LV7.1Runtime が install されていない場合。

- b. VISA 5.20Runtime を install して下さい。

VISA5.20 Runtime が install されていない場合。

- c. サンプルソフトを動作させる場合、

添付の<SC7215/17_3ch 表示).exe>をクリックして下さい。

5. 各 vi について

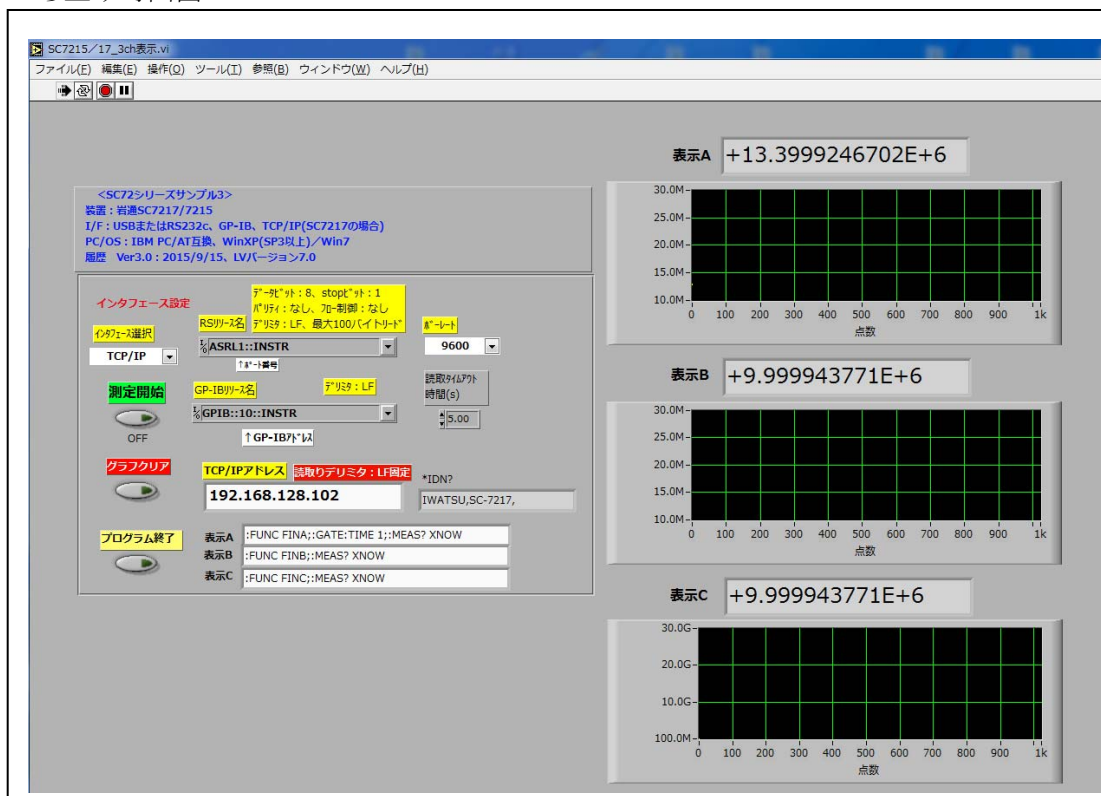
5.1 サンプルプログラム(SC7215/17_3ch 表示.vi)

(1) 機能

SC の CHA/CHB/CHC の値を、順次取り込んで、表示します。

取り込んだ測定値を別々に、トレンド表示します。

(2) 立ち上げ時画面



(3) 操作

インタフェース設定

デフォルト: 8、stop: 1
パリティ: なし、フロー制御: なし
デリミタ: LF、最大100バイトリード

インターフェース選択: TCP/IP

RSリソース名: ASRL1::INSTR

ポート: 9600

測定開始: OFF

GP-IBリソース名: GPIB::10::INSTR

デリミタ: LF

読取タイムアウト時間(s): 5.00

グラフクリア

TCP/IPアドレス: 192.168.128.102

読取りデリミタ: LF固定

*IDN?: IWATSU,SC-7217,

プログラム終了

表示A: :FUNC FINA;:GATE:TIME 1;:MEAS? XNOW
表示B: :FUNC FINB;:MEAS? XNOW
表示C: :FUNC FINC;:MEAS? XNOW

a. SC 側

- ・TCP/IP アドレスを確認してください。

2ND : SCLE : ↓、以下指示に従って、IP アドレスを確認してください。


b. PC 側

- ・TCP/IP アドレスを確認してください。

- ・DOS プロンプトで、”ping <SC/IP アドレス>”で接続確認してください。

c. ソフト側

- ・IP アドレスを正しく設定して下さい。

d. をクリックして下さい。

e. 表示 A 設定ボックス、表示 B 設定ボックス、表示 C 設定ボックス

必要な場合、設定変更できます。(但し、ユーザ責任です)

動作不良になった場合、該当箱を右クリックして、

<デフォルト値に再度初期化>して下さい。

f. <測定開始>=ON にして、

装置接続に成功すれば、<*IDN?>に装置 ID が表示されます。

表示 A ボックス→表示 B ボックス→表示 C ボックスを順次実行します。

(*)表示 C のテキストボックス=空白にすれば、表示 C は測定しません。

g. <波形クリア> : 測定開始時と測定中に変えられます。

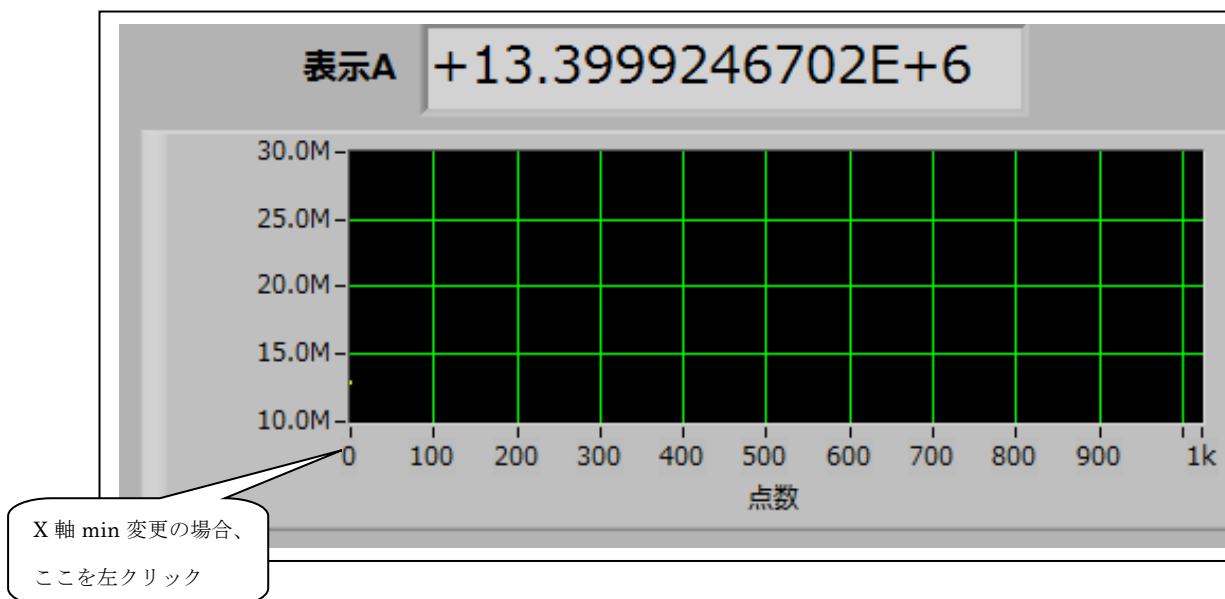
h. <測定開始>=OFF : 測定を停止します。

i. <プログラム終了>

クリックすると、パラメタをレジュームして終了します。

ここを空白にすれば、
測定しません

(4) グラフ表示の設定変更方法



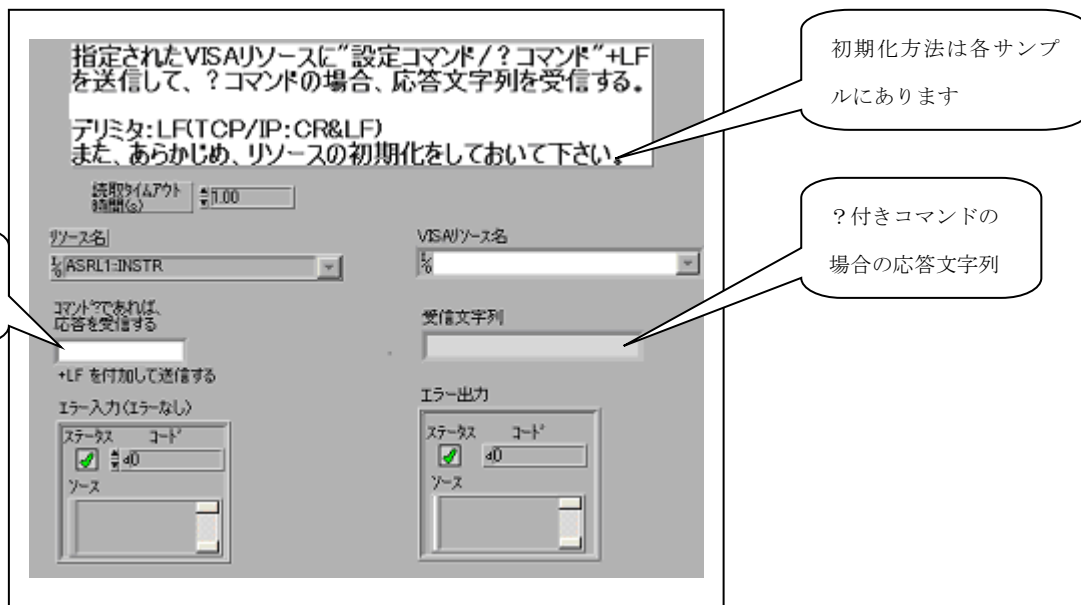
- a. x/y 軸スケール変更
スケールの min/max にマウスをあてて、左クリックして、値を変更することができます。
- b. グラフのクリア
グラフを右クリックして、<チャートをクリア>を選択してください。
- c. グラフの簡略画像のファイル出力
グラフを右クリックして、<簡略化された画像をエクスポート>を選択してください。以下、ガイドに従ってください。
- d. その他の設定変更
グラフを右クリックして、各種設定変更ができます。
ガイドに従ってください。
間違った設定変更をしてしまった場合、<デフォルト値に再度初期化>を選択してください。

5.2 ドライバ

5.2.1 Send_Rec_VISA.vi

指定された VISA リソース(RS、GP-IB、TCP/IP)に、<設定コマンド文字列>または<?コマンド>を送信して、<?コマンド>の場合、応答文字コードを受信します。コマンドにデリミタ (LF) は不要です。本 VI で付加して送信します。

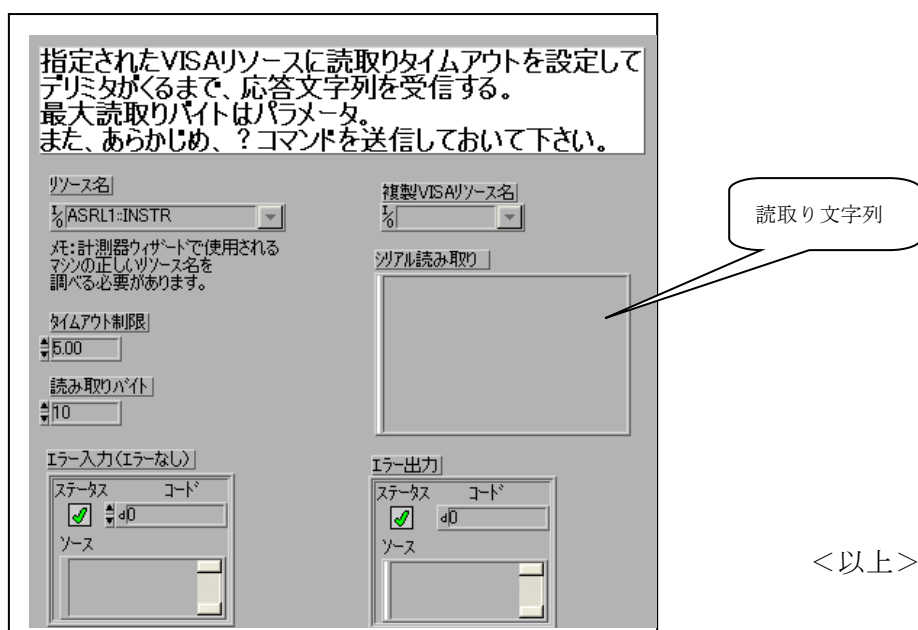
<入力パラメータ> <出力パラメータ>



5.2.2 Rec_VISA_with_Timeout.vi

指定された VISA リソース(RS、GP-IB、TCP/IP)に、読み取りタイムアウトを設定して、デリミタがくるまで、応答文字列を受信します。最大読み取りバイトはパラメータ。また、あらかじめ、?コマンドを送信しておいて下さい。

<入力パラメータ> <出力パラメータ>



<以上>